

『“地球グミ”はできたかな』 5歳児 11月 伏見こども園

エピソード

「地球グミをつくりたい」と、コンテで青色と赤色のさら砂をつくり、カプセルに入れて置いていました。翌日、カプセルに入れたさら砂を見た C ちゃんは「まだ固まってないな」と置いて違う遊びをしていました。2日後、「もう固まったかも」と D くんと一緒にカプセルからさら砂を取り出すことにしました。型抜きをするように、ひっくり返しただけではカプセルから出てこなかったため、まな板の上で優しくコンコンと叩いてみたり、アイスの木のパンをカプセルとさら砂の隙間にそっと入れてみたりして取り出そうと試していると、カプセルからポロっとさら砂の塊が出てきました。赤いさら砂はきれいに半球状に固まって出てきましたが、青いさら砂はカプセルに張り付いてうまく取れませんでした。「ああ」と残念な声を上げた C ちゃんと D くんですが、赤いさら砂の塊同士を合わせてみて、C ちゃん「あんまり丸くないから、ちょっとさら砂が少なかったのかも。もう一回つくろう」D くん「うん。僕は青つくるな」と塊を崩してもう一度、赤と青のさら砂をつくり始めました。さらに C ちゃんは「花の苗の入れ物みたいに指で押せる穴があったらうまく出せると思う」と、カプセルに指が入る穴をあけることを思い付き、保育者と一緒に穴を大きくしたあと、砂がこぼれ落ちないようにビニールテープでふさいで、また地球グミをつくろうと準備を始めていました。

子どもの育ちや学び

カプセルから出してみよう!



出てきた!



青いさら砂は割れちゃった



さら砂が少ない?
カプセルの穴を大きくする?
もう一回つくろう



期待 予想

カプセルの中のさら砂が十分に固まったと判断し、取り出そうとする

試行錯誤

さら砂を取り出すためにひっくり返したり、棒を入れたりする

喜び つまづき

カプセルから出てきたが、青いさら砂はバラバラになってしまった

原因の予想 再挑戦

うまくいかなかった原因を考え、再度つくろうとする

経験を活かす

カプセルの穴を大きくすることで取り出しやすくする

保育者の思い

・カプセルに入れたさら砂が十分に乾燥していたため、崩れてしまうのではないかと心配していましたが、自分たちで考えた方法で取り出すことが大切だと思い、見守っていました。
・塊が出てきた喜びと、青いさら砂が割れてしまったという残念な気持ちを感じていましたが、すぐにそれはなぜか予想したり考えたりし、「もう一度つくろう」と、今までの経験を活かし、次に向かう姿に、成長を感じました。
・うまくいく経験だけでなく、つまづきがあることで、ものや出来事と向き合ったり、考えたりすることに繋がってほしいと思います。

家庭だったら

・成功体験も子ども達にとって、とても大切ですが、思い通りにならなかったとき、つまづいたときに「どうしてだろう?」と、立ち止まって考えている姿も温かく見守ったり受け止めたりしてあげてくださいね。